

# 2020年の福祉と介護に向けて、いまできること

**講演者** 佐藤 幹 夫 フリージャーナリスト



さまざまな企画を地域の皆様にお届けしてきた研究所企画も14回目を迎えました。今回、淑徳大学社会福祉研究所ではフリージャーナリストの佐藤幹夫先生をお迎えします。養護学校教員を長く務められたのちに、福祉を中心としたさまざまな取材・執筆活動をされている先生による福祉現場からのレポートです。広く皆様のご参加をお待ちしております。

## ◆佐藤幹夫先生プロフィール

1953年秋田県生まれ。養護学校教員を21年間務めたあと2001年に退職し文筆活動に入る。現在、千葉・東金事件のドキュメンタリー、発達障害や特別支援教育、高齢者の医療と介護のルポなどを連載中。執筆活動の他、批評誌の刊行、出版企画やインタビュー取材など、フリー編集者としての活動も進める。更生保護法人同歩会・評議員。自立支援センター「ふるさとの会」相談室顧問。主な著書に、『「こころ」はどこで壊れるか』（共著）、『「こころ」はだれが壊すのか』（共著）、『ハンディキャップ論』、『少年犯罪厳罰化 私はこう考える』（共編著）、『裁かれた罪 裁けなかった「こころ」』、『「自閉症」の子どもたちと生きてきたこと』、文庫版『自閉症裁判』、『ルポ 高齢者医療』などがある。

## ◆プログラム

### 講演

高齢者の介護現場や、障害者の裁判の現状などについて取材活動を続ける佐藤先生に、最先端の福祉現場でのさまざまな試みについて、詳しく、分かりやすくお話しいただきます。そして、そこから、高齢者や障害者の介護・福祉の現場がどういう方向に向かおうとしているのか、これからの介護・福祉のあり方について考えます。

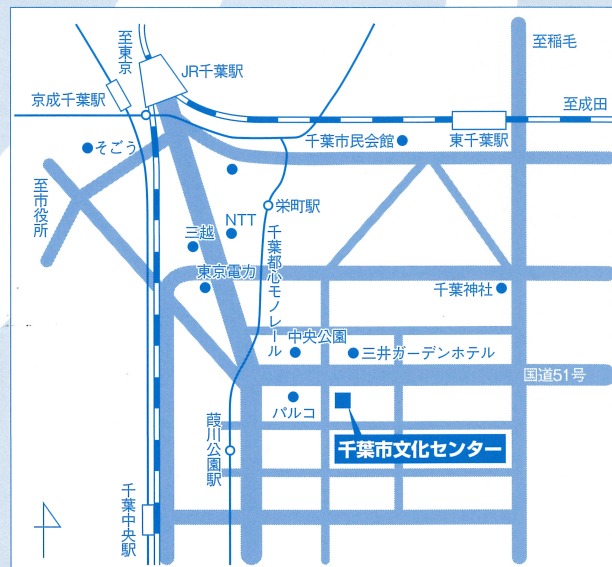
**日時** 平成22年7月4日（日）  
14:00～16:00（開場13時30分）

**場所** 千葉市文化センター3階 アートホール  
JR「千葉」駅下車 徒歩10分  
京成「千葉中央」駅下車 徒歩10分  
千葉都市モノレール「葭川公園」駅下車 徒歩5分  
電話 043-224-8211

**定員** 500人

**後援** 千葉市

**申込方法** 6月10日（木）までに、官製ハガキに住所、氏名、電話番号、参加希望人数を明記して郵送してください。（入場無料）



〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200  
淑徳大学社会福祉研究所／総合福祉研究室  
電話 火・木・金 043-265-7377（直通）

申込先・問合せ先